

平成27年度農高・農大就農促進対策事業

事業主体名 鹿児島県立鹿屋農業高等学校

1 目的

農業後継者確保のため啓発活動及び視察研修を主に行う。1年次は、県立農業大学校、県農業開発総合センター等に年2回の視察研修を行う。2年次は、農家委託実習を7泊8日で実施し、体験的に農業の経営について学習をする。3年次は、直接就農及び農業大学校進学者等で先進地農家を中心とした視察研修を実施する。農業に対して興味・関心を深め適格者の確保を目指すものである。

2 実施状況（主要なものを選定して記載してください）

(1) 中学生体験入学の実施

本校の学習内容を理解してもらうために、中学生を対象に体験入学を実施した。一人でも多くの中学生が本校に入学を希望するように畜産に関する学習や栽培に関する学習、農業機械の操作などを体験し興味を持ってもらった。中学生の進路選択の一助となった。



中学生体験入学（採卵実習）の様子

(2) 農ク(農業クラブ)フェスティバルの実施

生徒が日頃の実習をとおして丹精込めて育てあげた生産物の販売を学校祭初日に行った。

販売開始前より多くの買い物客が列をつくり販売開始後は、すぐに売り切れになる生産物もあった。生徒は、自分たちが授業で育てたあげた生産物が、多くの方々が喜んで購入する様子を見ることで自信を持つことができた。また、販売を通して接客をすることで、コミュニケーション能力の育成にもつながった。



販売会の様子

(3) 就農志向者研修

就農志向者を対象に優良農家及び関連施設等の視察研修を実施し、将来の就農に向けての指針とする。

豚や牛のと殺から解体、肉のカットと普段見ることのできない最新の施設を研修し自分たちが飼育した家畜が店頭に出るまでの流れを理解することができた。また命の大切さが改めて分かった。

3 今後の課題、取組

本校への入学者が減少しているので生徒募集に力を入れていきたい。また、非農家の入学者が多く農業に対する基本的な考え方から指導しなければならない状況がある。今後、学校の活動内容をより多くの地域の方に理解してもらうと共に、小中学生を対象にしたオープンスクールなどを実施し地域から信頼され魅力ある学校づくりに努めていきたい。



と畜見学